

☆スポーツの秋☆

☆幼児期に「バランス感覚」「体幹」「基礎体力」など、小さな「できた」を積み重ねて自分の体を使いこなせるようになってほしいと願っています。「できた」が見えやすい運動遊びは、自信や達成感、諦めない心を育てるには最適。「自分なりの目的をもつ」「友達の刺激をうけ、やってみようと思う」など心を動かし、「友達と一緒にすると楽しい」「友達と相談したり協力したりするって面白い」を感じながら高めてほしいと思います。



うきうきランドへ行こう！

3 歳のお部屋におさるのモンちゃんから手紙が届き、みんなで遊びに行くことにしました。跳ぶ、くぐる、渡る、登るなど、いろいろな体の部位を動かせるように工夫してあります。

自分のやりたいものを見つけ、あっちに行ったりこっちに行ったりしながら何度も遊ぶことを楽しみました。



素敵！
カッコいい！



お寿司忍者に変身！

一学期からお寿司屋さんごっこが好きな4 歳児。忍者の修業をして変身するぞ！と体をいっぱい動かして高い山によじ登ったり、ちょっぴりドキドキしながらジャンプしたりしました。ゴールまで一直線にかけこした後、お寿司ベルトで変身！まぐろやエビなど自分の好きなネタを頭につけて、「それもいいね♪」の曲に合わせて踊りました。



ペダルローラー、跳び箱、三角竹馬、フープ、3 人一緒に跳ぶ大縄跳び、鉄棒にぶら下がってじゃんけん、など自分がやりたいことを見つけ、諦めずに取り組みました。

友達と心を合わせて

毎日、リレーの相談をしていました。初めの頃は「アンカーはやりたい人がやったらいいよ」と優しく譲っていましたが、だんだん「速い人がした方がいい」「いや、こっちの順番の方が」など熱が入るようになり、秘密の特訓までするようになりました。当日は接戦で大盛り上がり！

バルーンも、掛け声をかけ、自分たちでタイミングを合わせています。映像で確認したり「指の先を見るときれい」と細部まで合わせたことで、見事に揃った演技ができました。友達と意見を出し合う、同じ方向を向いて相談する、いい経験につながっていると感じます。また、お手伝い係も頑張りました。

